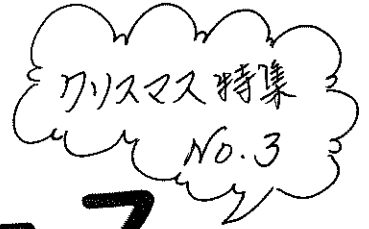


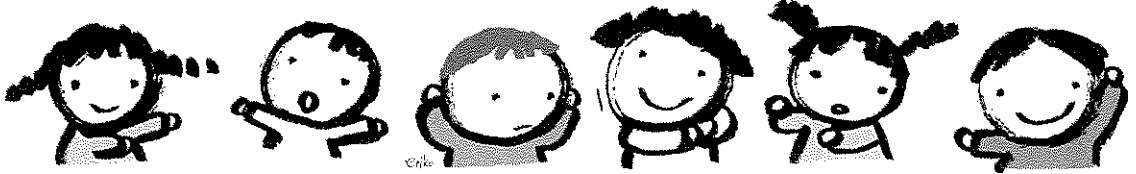
2024年度



# こどもニュース

No. 16

12.10 発行



## 【ゆっくりと進む意味】

12月4日の礼拝で2本目のろうそくに火が灯りました。目まぐるしく状況が変わっていく現代社会の中で一週間に一本ずつというペースはなんとゆっくり感じられる事でしょう。

明かりが増えていく様子を子ども達は固唾をのんで見守ります。全園児がそろい150人もの子ども達が集まっているのに、遊戯室はその間、何とも言えない静けさに包まれるのです。「師走」と言われる12月ですが、こうして心を静かにして本当に大事なことは何かを考え、一緒に感じる時間を持てることを心から感謝します。

幼稚園では11月下旬ごろから、マフラー作りが流行っています。リリアン編みですが、使い切ったガムテープの芯とアイスの棒等で手作り編み機をつくり、毛糸を編んでいます。

オリブ前のテラスに場所を造ると毎日のように子ども達が「作りたい!編みたい!」とやってきます。最初は年長さんが作っていましたが、今は年中さんにもブームが広がり男の子も女の子もおしゃべりしながら編んでいます。その周りにはうらやましそうな表情をしている年少さんが…。そのうち「わたしもやる!」と言い出すことでしょう。

こういった「手仕事」は昔から縁側でおばあちゃんやおじいちゃんから年上の子どもが教えてもらい、それをまた年下の子どもに伝えていったのではないのでしょうか。

それは一斉に「やりましょう」と提案する方法よりもずっとゆっくりとしたペースの歩みです。

じわじわと「なんか面白そうなことやってる」とウワサが伝わり

「なんだなんだ?」と少しずつ子ども達が集まり、先に作っていた年上の子ども達が一生懸命



命作り方を教えています。編み機の数多くないため、誰かが出来上がり、編み機が空くまで待たなければなりません。大人は「すぐに」やらせてあげたくなりますが、「ゆっくりと待つ」ことも大事です。待つ間に子ども達はじーっと友だちの手元を見ている。友達がどうやって編んでいるのか一生懸命見ながら学んでいるのです。

また「待つ間」に様々な気持ちも巡らせています。今挑戦したいのか、もっと後でもいいのか、友だちの横で待つのか、ちょっと他の遊びにいつてくるのか……。やっと編み機が回ってきて、そしていざ編み始めてもすぐにマフラーができあがるわけではありません。一目ずつしか進まない網目に「ちっとも長くならない!」とイライラしている子もいますが頑張っています。

現代社会を生きる子ども達は意外と「ゆっくり待つ」「ゆっくり進む」経験が少ないのかもしれない。小春日和の温かい日差しを浴びながら一目一目、のんびりと編んでいる子ども達を見ていると「ゆっくり進む」事の大切さをあらためて感じます。「早く」出来上がることが目的ではありませんから「だんだん編めてきたね」「綺麗だね」とゆったりお互いを認め合い「ちょっと穴が開いちゃった、教えて」と助け合い、行きつ戻りつしながら編み進んでいます。するとだんだん身体が(手が)編み方を理解していきます。身体を通した本物の理解です。一目ずつしか進まないマフラー編みは「早く」「すぐに」を求めてしまいがちな私たちに多くの事を問いかけてくれます。アドベントのろうそくに1本ずつ火が灯るようにゆっくりと進む事柄にも丁寧に目を向けていきたいと思います。

## 【喜びを分かち合うために】

すでに行われた保護者の皆様の讚美歌練習では、賛美の会のご協力のもと美しい歌声が遊戯室に響きました。この讚美歌練習もコロナ禍を経て、昨年度5年ぶりに復活しました。「まだ参加していない」「もっと歌いたい」方はぜひ12日(木)の会にご参加ください。「練習」と名前がついていますが上手に歌えることが目的なのではありません。子ども達とともに迎える讚美礼拝が大人にとっても、より豊かなものになるようにという園の願い、また讚美歌と一緒に歌うことで子ども達と喜びを分かち合いたいという保護者の願いが合わさり、長年実施されてきました。毎年、兄弟の讚美礼拝を経験されている保護者の方々が、子ども達が歌う場面のエピソードなども交えながら会をリードしてくださり、それが脈々と受け継がれてきました。

こうしてみると当たり前に行われてきたもの全てに、ここまで園に繋がってきた多くの方々の願いが込められていたことにあらためて気づきます。子どもだけではなく大人もともに「愛され、育ちあう」、それはいきなり実現するわけではなく日々のお互いへの小さな配慮や感謝、気持ちを寄せ、言葉にして伝えていくことの積み重ねの上にあるのでしょう。あと一週間となったアドベントの時期をそのような心持ちを大事に過ごしていきたいと思います。

2.

児玉芽



9

## ◆ いよいよクリスマス ◆



来週には、にじぐみクリスマス礼拝、讃美礼拝を迎えます。子どもたちは11月中頃から少しずつ準備をしてきました。献金箱やアドベントカレンダーを作ったり、自分のクリスマスブックを受け取ったり、お部屋やもみの木に飾りをつけたり…。目に見えることを通して、またアドベント礼拝やハレルヤを重ねる中で、自分なりに本当のクリスマスについて考え、楽しみに待つ心が育ってきました。

保護者の方も、クリスマスの意味や子どもたちが準備してきたことについて理解を深め、お一人おひとりが心の準備をしてくださいますように。ぜひ「こどもニュース クリスマス特集No. 1~3」を読み返して、クリスマスを待ち望む子どもたちと心を共にしていただければと願います。

### — ともに礼拝をお捧げくださる方々へのお願いと確認 —

ご理解とご協力をお願いいたします!

- ◆当日の朝を穏やかな気持ちで迎えるために、「警報等による日程変更について(11/14発行)」と「讃美礼拝のお知らせ(11/28発行)」をお読みいただき、登園時間・持ち物等をご確認ください。
- ◆2000年前、初めてのクリスマスは暗い小さな馬小屋で、静かに厳かにイエスさまをお迎えしました。讃美礼拝は、その馬小屋のように遊戯室全体を暗くし、心静かに行われます。保護者の方も、携帯電話の電源を切り、カメラやスマホ等での撮影禁止にご協力ください。
- ◆保護者席は園児1名につき1席です。席は決まっていないので、譲り合ってお座りください。席取りはご遠慮ください。
- ◆欠席連絡は、9時までにきずなネットに登録してください。讃美礼拝中はインターホン・電話の対応はできません。ご了承ください。
- ◆子どもたちの様子によって前後しますが、入場開始は9:45頃です。入場開始以降は出入りできません。やむを得ず途中退室される方は、マナ側の扉をご利用ください。
- ◆礼拝後、子どもたちは着替えをして、各クラスにて帰り支度をします。保護者の方は、この間に遊戯室の片付けなどお手伝いいただけると助かります。

細かな点までお願いしましたが、何よりも願っているのは

“イエスさまを中心に”

みんなで礼拝を捧げることです。

子どもたちと保護者のみなさまと共に  
イエスさまのお誕生を喜ぶ時となりますように…



## 《ワクワク♡アドベントカレンダー》 ☆ \* ☆ \* ☆ ☆ \*

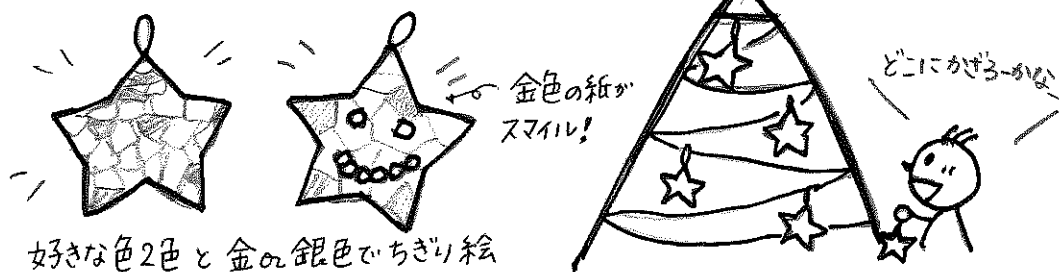
「今日は誰が飾るのかな～」とアドベントが始まった時から、皆が心待ちにしているアドベントカレンダー。毎年様々な飾りでお部屋をクリスマスの雰囲気満たしてくれています。

今年のアドベントカレンダーは「ほし」です。イエス・キリストが誕生した時に、三人の博士たちをベツレヘムに導いたことから、クリスマスのシンボルとなっています。

その作り方は星形の台紙にちぎり絵でキラキラ輝く星を表現しました。台紙となる銀色の厚紙を、星の形にはさみで切ること、年長中さんはもちろん、年少さんもチャレンジしました。はさみを使うことはみんな大好きで張り切って取り組んでいました。ちょっぴり難しいところは、お兄さんお姉さんが優しくお手伝いしてくれましたよ。

紙をちぎることはとても楽しくて、個性が出ていました。大きく大胆にちぎる子、貼るのが大変かと思うくらい細かくちぎる子もいました。

子どもたちが好きな色の紙を使って貼ったので、様々な色で輝いて見えます。中にはニッコリ笑顔に見えるお星さまもあります。



クラスそれぞれ壁面のクリスマスツリーであったり、星空だったり、オリジナルのアドベントカレンダーに飾っていきます。子どもたちは自分の飾る番はもちろん、今日は誰が飾るのか、毎日ソワソワしながら楽しみにしています。みんなでその嬉しい気持ちを分かち合いながら、讚美礼拝を心待ちにできますように…

( Aki ☆ )

## ☆ ☆ ☆ 年長ハレルヤ ☆ ☆ ☆

11月中旬から讚美礼拝におけるハレルヤが始まりました。

朝の体操後などに、「今日のハレルヤの人は…」と、その日行う場面に出てくる役の人が役名で呼ばれ、遊戯室に集合します。

ハレルヤをする遊戯室は、讚美礼拝当日のように、イエス様がお生まれになった馬小屋をイメージし、カーテンを閉め、少し暗くなっています。

体全体を使って発声練習をし、身も心もリラックスした後、イエスさまのお誕生をお祝いできることに感謝をして、お祈りをし、ハレルヤが始まります。そこからは姿勢を正し、緊張感のある雰囲気の中、セリフや歌、動きを確認していきます。

ハレルヤを行うなかで、こんなことがありました。ある役の子がセリフを言った後、他の子たちから自然と拍手が沸き起こったのです。今までにあまりないことだったので驚きましたが、大きな声ではっきりとセリフを言えたことへの“すごいね”の表現だったのでしょう。大勢の前でセリフを言うことが、どんなに緊張することなのか、一人一役担っているからこそ、気持ちがわかるのでしょう。

拍手…というのはこの時だけですが（心の中ではしている子もいるかもしれませんが）、ハレルヤの最後には、保育者からだけでなく、その場面に参加している皆で、素敵だったところを伝えあいます。こうして、仲間の良いところ・頑張ったところを分かち合うのは素敵なことですね。

ハンドベルを演奏するメンバーたちは、自分の鳴らす音（曲のどこで鳴らすか）を覚えるところから始まり、和音のところでは、音の重なり的美しさを感じながら、曲の仕上げに向けて、保育者の指揮にあわせ、心を一つにして、頑張っています。年中さんの聖歌隊と合わせての演奏もあります。どの曲も素敵なハーモニーを奏でてくれることでしょう。

年長さんがクリスマスブックをもらったのを見て、心待ちにしていた年中さん、年少さん。自分たちがもらえた日はとても嬉しそうでした。聖歌隊さん、そして、かわいいひつじ・天使・星の年少さんと皆で讚美礼拝を楽しみに待ちたいと思います。おうちの方もぜひ子どもたちと一緒に、クリスマスの讚美歌を歌ったりして、この嬉しい日を迎えましょう♪

(Kumi)



## ☆わたしたちは「聖歌隊」☆

クリスマスって…

「クリスマスはどんなことがあった日か知ってる？」と聞いてみると、「イエスさまのおたんじょうびだよね！」とこたえてくれた子がいました。年中のあつまりやハレルヤの時間に、イエスさまがおうまれになった日のことを、紙芝居や絵本を使って話しました。お話の中でクリスマスの讃美歌を保育者が口ずさむと、喜んで一緒に歌ってくれる子も。年少さんの時に歌ったり、聴いたりした讃美歌を覚えていてくれる姿が嬉しかったです♡



聖歌隊の歌声は♪

ハレルヤの1日目。『年中さんは、イエスさまの誕生の喜びを歌でみんなに伝える』ということ話をしました。そのお役目が『聖歌隊』であることを話すと、子どもたちは隣の子と目を合わせて、何だか嬉しそうに恥ずかしそうな表情。バザーや運動会、焼きいもパーティーに向けて『誰かのために役立つことをする』という経験を積み重ねてきた年中さん。讃美礼拝では、自信を持ってみんなでひとつの役を担い、喜びや達成感を味わって更に大きく成長して行ってほしいと願っています。

聖歌隊だけで歌う曲は、♪かみさまのおやくそく♪・♪きよしこのよる♪の2曲です。ハレルヤの中で、「聖歌隊の歌はどんなふうにか歌ったらいのか」と意見を出し合いました。「嬉しい気持ちで歌う」「(イエス様が寝ているから)優しい声で歌う」「お祈りの気持ちで歌う」「感謝の気持ちで歌う」など、年長さんのような発言があふれていて、素敵すぎて感動しました。イエス様の誕生を祝うという本当のクリスマスの意味を理解し、聖歌隊としての役割に心を寄せて考えられる力が備わっていることが素晴らしいです!!

初めて歌う讃美歌も繰り返し歌う中で少しずつ歌詞を覚え、歌えるようになってきました。♪もろびとこぞりて♪などクリスマスブックを見ながら、おうちで一緒に歌ってみてくださいね。

きれいな歌声を届けられるよう、讃美礼拝を迎える日まで子どもたちと一緒に準備していきたいと思っています。

(Rina)

# 年少ハレルヤ



## 年少さん、はじめてのハレルヤ

年少さんが集まって、はじめてのハレルヤを行いました。クラスで、しっかりお話を聞いていた子どもたちも多く、「今からハレルヤでしょ?」と楽しみにしている姿がありました。

いつものあつまりとは違って遊戯室でリズム遊び♪リズム遊びを通して、子どもたちがイメージする天使・星・ひつじになりきりました。最初は、天使に変身!羽のように手を広げ、勢いよく走り回る姿あり、活発な天使が多かったです。次は、星に変身!手でキラキラ~と音楽に合わせながら歩き回る姿があり、優雅な星たち。最後は、ひつじに変身!身体を動かすことを楽しみました。

## 「クリスマス知ってる?」

「クリスマスって何の日か知ってる?」の質問に、「イエス様のお誕生日!」と自信に満ち溢れた声で答えてくれた子がいました。「そう、神様の子どもイエス様の誕生日なんだよ」と伝えると、「そうなんだ~」という顔で頷く子どもたち。ハレルヤの時間、のりこ先生(前園長)が絵本や人形、讃美礼拝で歌う歌も交えながら、クリスマスがどういった日なのか子どもたちに伝えていきました。お話とっても真剣に聞いていたんだね。

幼稚園に入園して、初めてのお祈りや讃美歌、そして神さまに触れた子が多いと思います。しかし、これまでの園生活を通して、だんだんと神さまが身近な存在へとようになってきているのだと思います。

ご家庭でも、クリスマスについてぜひお子さんに聞いてみてください。

## 年少さんの配役をお伝えします♪

クリスマスがどんな日か知っていった年少さん。讃美礼拝の日は年少さんもお役目があります。かわいい天使・星・ひつじになって、一緒に礼拝に集い、讃美歌を歌ってイエス様のお誕生日をお祝いします。

当日大きな動きやセリフはありませんが、礼拝で歌う讃美歌を少しずつ覚えていって気持ちを高めています。当日着る予定の衣装や冠を見せながら「3つの役があるんだけど、どれがいいか自分で考えてね。」と3つの役について説明すると、よく理解して「これが良い!」と思いをもち伝えてくれる子どもたち。じっくり考えて決めている子や、「3つとも可愛くて困っちゃう」と迷う子、実際に衣装を着てみて、喜んでいる子どもたちの姿がありました。

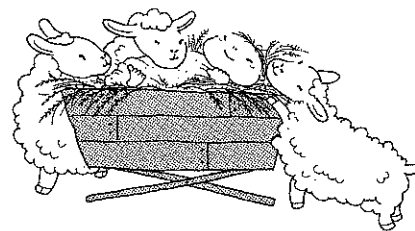
〈小さいてんし〉

救い主誕生の嬉しい知らせを告げました



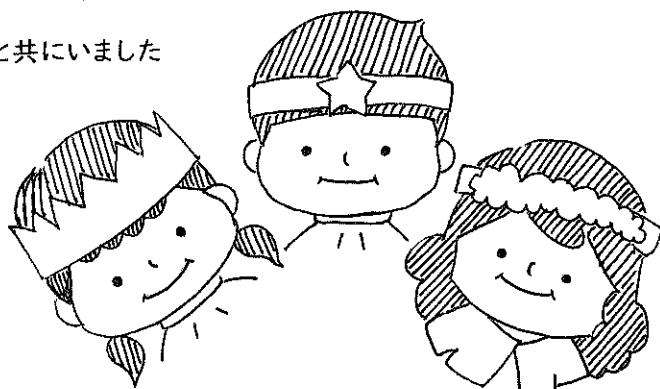
〈小さいほし〉

博士たちを馬小屋まで導きました



〈ひつじ〉

イエス様と一緒に祝いしに来た羊飼いと共にいました



讚美礼拝では、どの役の子も衣装と冠を着用します。てんし・ほしは、洋服のうえから白いケープを、ひつじは白い服を着ます。女の子は、冠をかぶりやすい髪型にしてきてくださいますようお願いいたします(耳より下で結ぶ髪型をオススメします)。

衣装を持ち帰りますので、一度衣装を着てみて下に着る服を検討してみてくださいね。

(まい)





## にじぐみ



12月に入り、新しいお友だちを迎えたにじぐみさん。すっかり、お友だちを迎えることに慣れ、お友だちの名前やマークをしっかりと覚えてくれて、親しげに声を掛けてくれています。

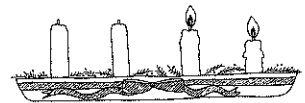
朝夕は冷え込むようになりましたが、日中の暖かい時間はみんな元気に外に出て遊んでいます。最近では泥団子づくりに熱中していたり、年長さんの真似をして?得意げに縄跳びを持って遊んでいる子もいます。(山からトンネルの入り口に吊り下げてお魚釣りをしているそうです。)

一人遊びが多かったにじぐみさんもお友だちに興味を持ち、同じ遊びをして楽しさを共有しています。また気になるお友だちには積極的に関わりを持つようとしています。

朝から、「〇〇ちゃんとすわりたい!」「〇〇ちゃんにごはんをいっしょにたべたい!」と保育者に教えてくれます。本人に伝えて、約束として成立するのはまだ難しいようですが、お友だちと仲良くなりしたい!という気持ちが伝わってきて嬉しく思います。

また皆で歌うことも大好きで、特に最近喜んで歌っているのが「ヤンチャリカ」です。あの歌謡曲の巨匠阿久悠作詞、小林亜星作曲の童謡です。ヤンチャクチャポウズが繰り出す数々の悪行、「ごはんはたべないヤンチャリカ」「どろんこふかないヤンチャリカ」「いたずらにこにこヤンチャリカ」とニヤニヤしながら歌っているにじぐみさん。悪いことに少し憧れながらも?ほんとはダメなんだよねーと、少しお兄さんお姉さんになったような気持ちで歌っているようです。そしてサビの「イチニサンシ ニーニーサン!…」では顔を見合わせながら、大きな声で大合唱!そんな楽しい気持ちを共感しながら、仲間意識が深まっていくといいなあと思っています。

### ちよっぴり緊張?合同礼拝



収穫感謝礼拝から年上児と共に、合同礼拝に参加しています。厳かな雰囲気の中、牧師先生がわかりやすい言葉で、絵を見せながら、時には身振り手振りを付けてお話して下さる聖書のお話に皆静かに耳を傾けています。お兄さんお姉さんたちが素敵なお歌声で讃美歌を歌っているのに少し圧倒されつつ、それでもしっかりと聴いて自分も!と声を合わせて歌っている姿はとても愛らしいです。すでに年長さんの献金当番に憧れを抱いて「早くやりたい!」と言っている子もいます。あと数年期待してお待ちくださいね。

アドベントが始まり、クランツの美しいろうそくに本物の灯がともされるのを、にじ組さんも真剣なまなざしで見つめています。みんなクリスマスの特別な雰囲気を肌で感じているようです。

## クリスマスってなあに？

「クリスマスってしてる？」の問いかけにほとんどの子がわからない様子でした。それはそうですね。まだ三歳になったばかり。プレゼントをもらった記憶があるかないか…。それでも「クリスマスツリーかざったよ!」「サンタさんがプレゼントくれる♡」と気が付いたことを教えてくれる子もいました。

クリスマスはイエス様がお生まれになった日で、そしてそのお誕生をみんなで祝いするんだよとお話をすると、びっくり、不思議そうにしていました。

2000年以上も昔に起きた特別な出来事を絵本で見たり、讃美歌を歌って少しずつ伝えていきます。クリスマスの本当の意味を伝えることに難しさも感じますが、何よりも子どもたちが柔らかな気持ちで素直に受け止めてくれることに喜びを感じています。

にじぐみのお部屋でもアドベントカレンダーのほしを一人ずつ順番に飾りつけています。みんな早く自分が飾りたくて待ち遠しいようです。今日は誰かな～?とワクワクするのも楽しいひとときです。また特製にじぐみクランツの木片ろうそくにもフェルトの灯をともししています。4本のろうそくが灯ったら、にじぐみのクリスマス礼拝です!その日は、おうちの方と共にパネルシアターによるクリスマス物語を見ながら、下記の讃美歌を歌ってイエス様の誕生をお祝いします。クリスマスブックをみながら、ぜひおうちでもお子さんと一緒に歌ってみてくださいね♪

またよければ、保護者讃美歌練習にも是非ご参加ください!

おうちの方と一緒にクリスマス礼拝ができることを楽しみにお待ちしております。

♪クリスマスのおはなし

♪やどさがし

♪よろこびうたえハレルヤ

♪ひがしのくにより

♪あるひうまごやで

※やどさがし以外一番のみ歌います



( Akie★ )